| 事業所名 | | 子ども支持 | 爰室 えがる | お | © | 放課後支援 | プログラム | © | 作成日 | 令和6年 | 12 | 月 | 20 | 日 |
|-----------|-------------|---|---------------------------------|--------|-------------------|--------|-------|----------|---|------|----|---|----|---|
| 法人(事業所)理念 | | ♥障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちを一人の人間として尊重します。♥支援が必要な特性を持ち、生きにくさを感じている子どもたちやその家族、関係者、地域社会に対して、特性についての理解、正しい知識と支援を広め、みんなが笑顔で幸せなに生活を送れることを目指します。 | | | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | ♥少人数での集団において、子どもに寄り添い、楽しく活動に参加できる環境を作っていきます。 ♥「今できている」ことを大切にしていきます。一人一人の特性を理解し子どもたちが「できる!!できた!!」の喜びを感じ「もっとやりたい!!」という気持ちを引き出し、二一ズ課題に向け支援をし、次へのステップへとつないでいきます。 ♥集団、個人での『遊び』の取り組みの中で「◎楽しい◎」を大人や他児と共有し、人との信頼関係を育み、発達を促していけるようニーズ課題にあった遊びを提供していきます。 ♥今後出ていく社会に向けて、マナーやルールを知り、社会スキルを身に着けていけるように支援していきます。 | | | | | | | | | | | | |
| | 営業時間 | | <mark>9</mark> 時 | 00 分から | <mark>17</mark> 時 | 30 分まで | 送迎実 | 施の有無 | あり | | | | | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・健康状態の確認や個々の特性等に配慮し、健康な心と身体を育て安心、安全、安定した見通しを持った生活が送れるように支援をします。 ・子どもの特性や発達の状況に配慮しながら心身の状況を把握し、日頃と違う状況、子どもが発信するサインに気づき対応していきます。 ・身の回りのスキルはスモールステップで支援をします。 | | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・身体のボディーイメージを持ち、身体の使い方を獲得していけるように支援をし、粗大運動、微細運動の発達を促します ・運動や動作、姿勢、の身体の機能の向上を目指します。身体的機能に補助が必要な場合は、補助具や姿勢を保持できるツール等を使い支援をしていきます。 ・感覚の特性を理解し環境を調整したり、配慮していきます。また、苦手な感覚に対して回避できる手段を獲得できる支援をしていきます。 | | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・子どもが積極的に取り組む好きな活動を通して、成功体験を積み、自己肯定感を育みます。 ・一人一人の発達段階や特性に合わせた声のかけ方や関わりをします。 ・二一ズ課題に合った様々な遊びを経験し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、必要な情報を収集して正しい行動につなげていく認知機能の発達を促します。 ・情報を正しく理解でき、正しく行動に移せるように理解、行動の支援をしていきます。 | | | | | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | ・言語発声にこだわらず、子どもが伝えやすい、絵カード、指差し、サイン、ジェスチャー、文字、コミュニケーションツール等を活用し、人とのコミュニケーション、意志の伝達を 支援し「相手に伝わる」「相手から返ってくる」等の相互のやり取りに、楽しみ喜びを感じられることを目指します。 ・場面や相手の立場に応じた人とのかかわり方について学べる経験を増やしていきます(挨拶、言葉使いなど) | | | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築き、その信頼関係を基盤として、他の周りの大人、他児と安心、安定した関係を形成していきます。 ・他者との関わりを通して、相手の気持ち、考えを知る、自分の気持ちや情動の調整、折り合いをつける、相手を思いやる気持ちを育んでいきます。 ・公共の場でのマナーやルールを学んでいきます。 ・安心できる環境の中で自己肯定感を育み、安定した情緒で生活が出来るように支援をしていきます(ストレスの発散などを支援) | | | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 子育てにおけ | の状況や特性など る困り事の相談 性に関する情報の | | | 移行支援 | | | ・ライフステージの見通しを持ち、次へのステップに向けての目標設定や支援内容の計画、必要な準備を本人、保護者、関係機関と一緒に考えていきます。 (進路先の相談や情報提供) ・他者との関わりの中で生活を楽しめる様に社会、地域との交流を行っていきます。 | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | ・学校等関係機関との情報の共有、支援や子ども、家族状況の相談 ・福祉サービス関係機関との連携(相談支援事業所、一般相談等) ・地域行事への参加をし、地域でも安心して生活ができるよう支援をします。 | | | | | | | | | | | | |
| | 主な行事等 | ・季節、祝日の内容にあわせたイベント(節分、夏祭り、遠足、水遊び、子どもの日、敬老の日、クリスマス会等)お誕生日会等 ・公共の施設での活動 ・買い物 ・外食 ・図書館 ・クッキング ・保護者見学、関係機関の見学 ・避難訓練 | | | | | | | | | | | | |